

令和 6 年度事業報告書

令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日まで

特定非営利活動法人 なおみの会

1 事業の成果

令和 6 年度のなおみの会では、なおみの会共同作業（就労継続支援 B 型事業）を中心に、福岡県精神保健福祉会連合会主催のスポーツレクリエーション北九州ブロック大会を開催、成功させることができた。また、障がい者身体拘束・虐待防止研修会への参加を始め、福精連 50 周年記念式典、九州・沖縄ブロック大会、福精連北九州ブロック家族交流会等多くの研修会や勉強会、レクリエーション等に参加をすることができた。その他にも地域のイベントや交流会及び勉強会などにも積極的に参加したその効果として、地域の方々へ当事業所の活動報告を行うこともでき、交流の改善につながった上、多くの事業所との協力も始まった。

全体としては、年 4 回（6 月：スポレク計画立案。9 月：身体拘束・虐待防止研修。12 月：メンタルヘルスケア研修。3 月：事業継続計画（BCP）研修と動きの連動の確認）等、職員全体の研修会や勉強会などを積極的に行うことで職員の意識改善とスキルの向上、チームワークの強化を図り、事業所全体の利用者へもより良いサービスの提供につなげることができた。

アットホームなおみ（共同生活援助事業）では、利用者の誕生日会や季節のイベントを積極的に行い、グループホーム内での利用者の交流を深めることができた。更に正会員の積極的な手伝い等もあって、毎週日曜日開所の障がい者サロンわらあいクラブ（宮若市委託事業）も年度初めの予定通り開催することができ、利用者が一日を無意味に過ごすことなく他者と関わることで、「楽しい障がい者の居場所」を提供することができた。

サロンなおみ（地域活動支援センターⅢ型）においては、新規の利用者への広報活動や毎月のイベントなどを通し、日中活動を行いながら居場所の提供と利用者間の交流の場を提供する事ができた。

障がい者相談支援センターなおみ（特定相談支援事業）は、毎月訪問を行いながら、利用者の障がい福祉サービス導入への不安解消や、生活上の心配事へのサポート支援を行うことができた。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した 事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の名数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 名数	活動計算書 の事業費の 金額 (単位:千円)
(1)自立生活 支援に関する事 業	① 無料障がい者サロンの 運営	(A) 毎週日曜日 (B) 宮若市磯光 (C) 2 名～3 名	(D) 家族、一般市 民、障害者 (E) 1 回 15 名程 度	6 0 0
(2)障害者の 社会復帰を支援 する 施設の運営事業	① 共同生活援助事業 (社会活動・社会参加)	(A) 通年 (B) 事業所 (C) 常勤 2 名	(D) 障害者 (E) 5 名	3, 1 0 0
(3)障害者の 社会活動と就労 の支援事業	① 就労継続支援 B 型 (福祉就労支援)	(A) 通年 (B) 事業所 (C) 7 名	(D) 障害者 (E) 36 名	8, 0 5 0
(4)障害者に 関する啓発広報 等の事業	① 研修会（家族教室、交 流会等）の開催	(A) 家族教室 他 隔月 1 回 8 月休会 (B) 福岡県直方総合 庁舎 他 (C) 5 名	(D) 家族、一般市 民 (E) 各会 25 名程 度	2 0 0
	② 機関誌（会報）啓発文	(A) 年 4 回発行	(D) 家族、一般市	2 0 0

	等による広報事業 ・なおみの会 ホームページ更新	(B) 家族会員、行政、 医療機関等 (C) 3 名	民、行政、医 療機関、各種 団体等 (E) 各号 250 部	
(5) 精神障がい者 福祉政策に関する 提言事業	① 各市町自治体の各種政 策会議参加	(A) 年数回 (B) 各行政棟他 (C) 3 名	(D) 家族、一般市民 (E) 2市2町市民	2 0 0
	② 各市町のボランティア 連絡会他への参加	(A) 各会議の例会他 (B) 各総合福祉セン ター他 (C) 5 名	(D) 家族、一般市民 (E) 2市2町市民	2 0 0
(6)障害者総合支 援法に基づく指 定障害福祉サー ビス事業	① 就労継続支援事業	(A) 通年 (B) 作業所他 (C) 常勤 7 名	(D) 作業所利用 者 (E) 実利用者 36 名	4 2, 2 0 0
	② 各種イベント時の販売 活動	(A) 総合庁舎のまご ころ製品販売な どのイベント開 催日 (B) 各イベント会場 (C) 支援員、家族、 当事者、ボランテ ィア	(D) 作業所利用 者 (E) 実利用者 25 名	1, 2 4 6
	③ 障害者の社会活動や就 労支援	(A) 通年 (B) 鞍手直方地域の 各行政、各企業や 各種団体 (C) 5 名	(D) 作業所利用 者 (E) 25 名	1 5 0
	④ グループホーム利用者 の自立支援	(A) 通年 (B) グループホーム (C) 常勤 1 名 非常勤 1 名	(D) グループホ ーム利用者 (E) 実利用者 5 名	1 5 0
	⑤ 障害者の雇用先の開拓 の為就労支援機関等と 連絡調整を行う	(A) 随時 (B) 直方鞍手地域周 辺 (C) 2～3 名	(D) 作業所利用 者 (E) 2～3 名	1 5 0
	⑥ 家族から独立した暮ら し方の支援 (共同生活援助事業)	(A) 通年 (B) 事業所 (C) 常勤 1 名 非常勤 1 名	(D) 障害者 (E) 5 名	3, 9 7 0
(7)障害者総合支 援法に基づく地 域活動支援セン ター事業	① 障がい者の日中活動支 援（生活相談・創作活 動・生産活動・地域と の交流）	(A) 通年 (B) 事業所 (C) 常勤 2 名	(D) 障がい者及 び家族 (E) 30 名	6, 3 8 4
	② 作業所利用者の家族に 対する相談	(A) 通年 (B) 事業所 (C) 常勤 2 名	(D) 作業所利用 者等及び家 族 (E) 10 名	1 5 0
(8)障害者総合支 援法に基づく特 定相談支援事業	① 生活・暮らし方・福祉 サービス利用に関する 相談支援	(A) 通年 (B) 事業所 各関係機関他 (C) 常勤 1 名	(D) 障害者 (E) 55 名	3, 1 1 0
(9)児童福祉法に 基づく障害児相 談支援事業	① 生活・暮らし方・福祉 サービス利用に関する 相談支援	(A) 通年 (B) 事業所 各関係機関他 (C) 常勤 1 名	(D) 障害児 (E) 5 名	2 3 6